

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D1
		仕 様		LGP
		適用号機		XKL00001～
区 分	検 査 箇 所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950
		トルコンストール状態 （冷却水温）	min ⁻¹ （℃）	— (70～80)
		（作動油温）	（℃）	(80～90)
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa （℃） (min ⁻¹)	375～ (60～70) (1800-2400)
	燃料装置	弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 （測定条件）	mm mm	0 0 (冷間時)
		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）	kgf/cm ² KPa （℃） (min ⁻¹)	350 (—) (—)
		噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕 〔kgとNの両方で表記〕	mm [N]	設定なし (自動張り調整)
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル		ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	c m c m c m —
	走行 ミ ク シ ッ シ ョ ン ・ 油 ト 圧 ラ ン ス	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ² —
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ² —
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ² —
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ² —
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ² —
		(ミッション油温)		(℃) —
		(エンジン回転速度)		(min ⁻¹) —
	プロペラーシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kg・m —
	ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m —
		ステアリングクラッチ油圧		MPa kg/cm ² (℃) (r p m) —

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D1		
		仕 様		LGP		
		適用号機		XKL00001～		
区 分	検 査 箇 所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	—	
			張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	図1参照	
		鉄 シ ュ ー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	—	
			履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め	
			制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分 mm/分 mm/分 mm/分	17mm/5分 地面から254mm 33mm/5分 チルト左一杯 6mm/5分 地面から254mm	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） バケットシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分 mm/分	—	
		（作動油温）		（℃）		
		作 業 機 速 度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒 秒	2.2±0.3秒 地面～最大 1.3±0.2秒 地面～最大
			ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒 秒	—
			（作動油温）		（℃）	
	油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 （作動油温）	kg/cm ² MPa （℃）	20.6±0.9 （38～65）	
		備考				

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。